

# 洛和会音羽記念病院

## 地域連携 NEWS

Vol.

11

〒607-8116 京都市山科区小山鎮守町29-1 TEL 075(594)8010(代) FAX 075(593)8035 <http://www.rakuwa.or.jp/kinen/>

### 着任のごあいさつ



洛和会音羽記念病院  
腎臓透析外科

たか い りょう  
医長 高井 亮

専門分野 外科一般

専門医認定・資格など

日本外科学会外科専門医  
医学博士

2022年4月に洛和会音羽記念病院 腎臓透析外科に着任いたしました。昨年度まで兵庫県の大学病院で、一般外科をメインに、シャント関連の手術も担当していました。節目となる医師10年目が終わり、自分の一番極めたい透析シャントの手術に専念したいと思っていたところ、診療部長の「どんな患者さんでも受け入れる」との治療方針に心を打たれ、PTA・手術の経験豊富な医師の多い、洛和会音羽記念病院で働かせていただくこととなりました。

技術はもちろんのこと、誠心誠意をもって診療にあたります。よろしくお願いいたします。



洛和会音羽記念病院  
腎臓内科

やま もと か なえ  
医長 山本 香苗

専門分野 腎臓内科、透析科

専門医認定・資格など

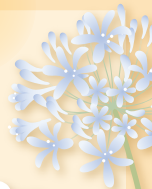
日本内科学会総合内科専門医  
日本腎臓学会腎臓専門医  
日本透析医学会専門医

2022年4月に洛和会音羽記念病院 腎臓内科に着任いたしました。大学卒業後、関東の総合病院・大学病院で主に腎臓内科の診療にあたっていました。2011年から大学で腎不全の研究を始め、2013年に京都大学への国内留学を機に、京都で生活しています。

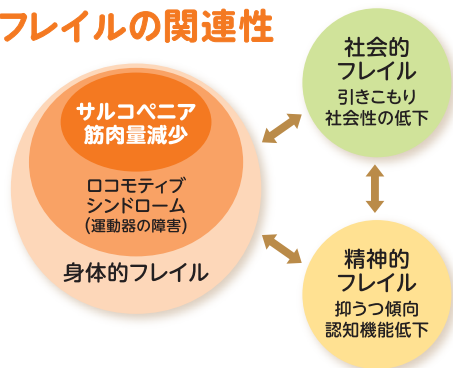
洛和会音羽記念病院には、京都大学での研究中から非常勤として主に外来透析患者さんの診療に携わっていました。患者さんが安心して透析医療を受けられるように、一緒に治療を進めてまいります。また、総合的な医療が提供できますよう、他病院や保健医療福祉サービスとも連携を取ってまいります。

よろしくお願いいたします。

# 透析患者さんの フレイル・サルコペニア予防と改善のために



## フレイルの関連性



**フレイル**とは、日本老年医学会が2014年に提唱した概念で、厚生労働省研究班の報告書では「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」と定義付けられています。

**サルコペニア**とは、加齢により骨格筋量が低下し、筋力もしくは身体機能（歩行速度など）が基準より低下している状態を指し、フレイルの身体的要因として挙げられます。

## 当院の取り組み

透析をベッドで寝ながら受けることが多いため、透析患者さんは、運動が不足しがちで、サルコペニアになるリスクが高いといわれています。しかし、適切な介入や支援を行えば、生活機能の維持向上、フレイルの進行防止も可能です。

### ▶ 個々に応じた「フレイル予防・改善」でその人らしい生活を

当院では、2022年4月から透析中の患者さんに**運動指導**を開始しました。単なる透析中の運動促進ではなく、フレイル・サルコペニアの進行防止、改善を目的としており、理学療法士による身体機能の評価、作業療法士による認知情動評価に加え、言語聴覚士による摂食機能の評価も行っています。それらの結果を踏まえ、医師からの指示をもとに、個々の患者さんの症状や状態に応じたテラーメイドの「**フレイル予防・改善プログラム**」を提供しています。



洛和会音羽記念病院  
リハビリテーション部 理学療法士  
しらひこ たけお  
課長 白井 健雄

当院 リハビリテーション部では、腎臓リハビリテーションの一環として運動指導を行い、フレイル・サルコペニアの予防・改善を促すことで、透析患者さんがその人らしく、住み慣れたこの街で暮らし続けられるようにサポートしてまいります。



患者さんの状態に応じた筋力トレーニング



エルゴメータを使用した有酸素運動を取り入れています

当院の運動指導の  
詳細はこちら >>>



洛和会音羽記念病院  
地域連携課

ご意見・ご質問・ご要望など承ります

受付時間

月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分

連絡先

TEL 075(594)8010(代)

FAX 075(593)8035

E-mail msw\_k@rakuwa.or.jp

